

地球温暖化などテーマ 建コン九州がシンポジウム



（社）建設コンサル
タツ協九州支部は10
日、令和3年度の「防災
シンポジウム」を開催し
た。写真Ⅱ。シンポジウ
ムのテーマは『地球温暖
化と九州地方への影響』。
講師には鹿児島大学で特
任研究員を務める中谷剛
氏を招いた。講演はWEB
によるライブ配信で行
われ、それぞれのデバイ
ス画面等を通して約10
0人が聴講した。

部の田中清支部長があい
さつ。地球温暖化による
異常気象の影響と思われ
る豪雨災害として、平成
29年の九州北部豪雨、30
年の西日本豪雨、令和2
年の熊本県球磨川流域等
を襲った豪雨災害、今年
8月の長雨による水害
などを挙げ、近年その激
しさがエスカレートして
いるように感じる「な
どと指摘。その上で「本
日の講演が、防災・減
災、国土強靱化等に携わ

る皆さんにとって、今後
の業務のヒントになるこ
とを願っている」等とし
た。

今年度のシンポジウム
では、鹿児島大学の総合
科学域総合研究学系南九
州・南西諸島域共創機構
地震火山地域防災セン
ターで特任研究員を務め
る中谷氏が講演した。

中谷氏はこの中で地球
温暖化の概要をはじめ、
その影響に伴う日本全体
の気候変動や異常気象な
どについて解説。さらに
は九州で予測される温暖
化の影響、および気候変
動に伴う降雨量や洪水発
生頻度の変化、九州各県
の雨の降り方の変化など
についても説明した。

冒頭、建コン協九州支